

第1号様式（第5条関係）

墨田区SDGs宣言書

墨田区 宛

私たちは、持続可能なまちづくりに向け、下記のとおり、SDGsの推進に墨田区とともに取り組むことを宣言します。

＜宣言日＞ 令和8年7月2日

＜更新日＞

＜変更日＞

事業者・団体等名 :株式会社エー・ディー・ピー
代 表 者 役職 :代表取締役
氏名 :三ッ井 清明

記

事業者・団体等としての 2030年までのあるべき姿	わたくしたち株式会社エー・ディー・ピーは、企業としてまたサプライチェーンとしてSDGsの実現に向けて、ファッションやプリントに関わるあらゆる分野での環境負荷を減らす努力を2030年以降もし続けています。また、2030年には今よりもSDGsに関してできることが増えてそれが当たり前の経営を続けています。
------------------------------	--

・ 関連するSDGsの目標すべてに○をご記入ください。（複数選択可）

					
					
					

・ ○を記入していただいたSDGs目標の達成に向け、すでに具体的に取り組んでいること、又はこれから取り組むことをご記入ください。

現在以下のことを取り組んでおります。

「バイオマス原料を配合したインキ用バインダーの利用」「バイオプラスチック梱包袋（OPP袋）を採用」「エコパスポート認証インキを採用」「MSDSに基づく化学物質・有害物質の適切な取り扱い」「廃インキの適切な処理」「リサイクル着物と古着を活用した新しいサステナブルファッションの提案・販売」「自社に主要なWEBサイトのフォントをUDフォントに変更」「社内のLED電化」「社内電気使用量の見える化」「使用済み昇華転写紙の有効活用（RPF化）」「B品・余剰品・裁断済み残布の有効活用（RPF化）」「プリント・縫製を施したメッシュ生地を古着と組み合わせ商品など、古着リメイクなどで今までにない新たな価値を生み出すサステナブルファッションの提案・販売」「廃棄予定のB反からアロハシャツ生産」「商品ごとのCFP（カーボンフットプリント）の算出」「社員制服にCFP表示」

今後の取り組みと課題は、「シルクスクリーン用インキの適切な廃液処理」「高校生に向けたSDGsへの理解を深めるクラスTシャツ作成の提案」等を予定。

SDGs 達成に向けた特徴的な活動	「商品ごとのCFP（カーボンフットプリント）の算出」「使用済み昇華転写紙の有効活用（RPF化）」「廃棄予定のB反からアロハシャツ生産」「リサイクル着物と古着を活用して、実用新案を取得したプリント手法を組み合わせた新しいサステナブルファッションの提案・販売」
宣言日から3年間の成果指標（定量的な目標）	自社オリジナルブランド製品）におけるCFP算出実施率100%を継続。昇華プリント等で発生する使用済み転写紙およびB品のRPF化率100%を継続。工場見学の受け入れを年間5回（または10名）以上実施し、地場産業への理解を深める。「アップサイクル商品」の売上構成比全体の5%まで引き上げる。
業 種	製造業
所 在 地	〒130-0014 東京都墨田区亀沢2-15-9 第1はすめビル
事業所数（本社が提出する場合のみ）	3 事業所
従業員（構成員）数	57 名 （うち外国人 ____ 名）
U R L	http://adp3000.com/
区HPへのリンク可否	はい
SDGs 宣言証の発行	希望する

・ 対象要件に関し、該当するすべての欄に✓してください。	
✓ 欄	対 象 要 件
☒	関係法令等に違反していない。
☒	公序良俗に反していない。
☒	暴力団及び暴力団員、暴力団の構成員と密接な関係を有していない。
※： ☒ がついていない箇所がある場合、対象要件に該当しないため、宣言書を受理することができません。	

・ 提出書類	
墨田区SDGs 宣言書	本紙
そのほか活動内容が分かるもの	必要であれば添付すること

※宣言書の内容は担当者以外、原則、区のウェブサイト等で公開します。